

おみせ・イベント・相談会～ぜひおこしてください

	べらしお福祉住吉東店	コブン・カフェ	手づくりショップパンフ	Café コロたま
こんなお店	おいしい塩ラーメンが名物	おいしいコーヒーとサンドイッチがですか	オガリ作業所のお店。パンやパウンドケーキが売ります	阪和線我孫子町駅近く。安くておいしいランチをどうぞ
開店曜日	月～金	月～金	月～金	火・水・金ランチ 月・木はカフェ
開店時間	11:30～13:30	9:30～14:30	10:00～16:00	10:30～14:30
備考	3/21も開店いたします	3/21はお休みです		

	まちかど喫茶(るーぶ)	まちかど喫茶(よさみ野)	田辺大根堂	FamilyFriendlyらふら
こんなお店	"なごみ"でコーヒーとケーキはいかがですか?	なごみ玄関でとれたて野菜と香の乾物販売	子育て支援のグッズ販売しています	
日にち	毎週水曜日	毎週木曜日	毎週木曜日	火～土
時間	10:00～15:00			10:00～16:00
備考	3/21はお休みです			

	ごはん倶楽部	なごみ食堂	るびなすみんなの食堂	みんなのマーケットるびなす
こんなお店	食事を作ってみんなで食べましょう	特養なごみ入居者さんと一緒にカレーを	高倉台のみんなの食堂。土曜朝集合	堺市南区高倉台の就労支援スーパーです
開催日・開店日	3/21(木)	3/19(火)	3/2(土)	月～土
時間	11:00～13:30	16:00～19:00	10:00～12:00	10:00～17:00
備考	参加費400円	参加費100円	こども100円おとな300円	3/21はお休みです

	きまぐれカフェ	オレンジカフェ ななしのこんべい	3月のごはん倶楽部は時間と場所が変わっています! 11時から・・・昼間です! 会場・・・なごみ地域交流スペースです
場所	なごみ地域交流スペース	であい2階地域交流スペース	
開催日	3/25(月)	3/9(土)	
時間	10:00～15:00	13:30～15:30	



らふら' が "なんばマルイ" にやってきました! 第3弾



きかん がつ にち げつ にち もく

期間: 3月11日(月)～14日(木)

じかん

時間: 11:00～20:30

ばしょ ちか かい

場所: 地下1階 イベントスペース




前回同様、丸井グループの「リユースマーケット」と同時開催!と、今回新たに、大阪府内の障がいのある方の作品を取り扱うアンテナショップ「福祉のコンビニこさえたん」も一緒に出店します。そのぶん一度にたくさんの手づくり雑貨と出会うことができます!ぜひ、足を運んでみてくださいね。

ライフサポートだより

Vol.186 2019年3月号
 (社福) ライフサポート協会
 〒558-0054
 大阪市住吉区塚山5-10-15
 TEL 06-6676-0753
 ホーム <http://www.lifesupport.or.jp>
 メール info@lifesupport.or.jp

じらふギャング☆スター じらふOB・OG会がありました!

1月27日(日)に「じらふデイ☆ギャングスター」と称して、じらふデイOBOG会を開催いたしました! じらふデイサービスの卒業生38名と保護者の方。そして元スタッフに現役のスタッフの総勢60名を超える方々にお集まり頂き、たいへん盛り上がりました。卒業生から「卒業してもスタッフとおしゃべりできる場が欲しい」と声をかけて頂いたことがきっかけで開催が決まった今回のイベント。かつて一緒に取り組んだおやつ作りをしたり、懐かしい写真をスライドショーで上映したり、利用していた時と同じようにスタッフと楽しくお話ししたりと、みなさん思い思いに過ごして頂くことができました☆

みなさんいい笑顔で、デイに通っていたころの懐かしい話や、今頑張っていることなど…話に花が咲いていました。

そして!今回好評だったため、早くも第2回めの開催も決まりました☆詳細が決まりましたら、じらふデイよりお知らせいたします!お楽しみに!



じらふは障がいのある子どもの余暇支援の場所として、制度が制定された2003年から「児童デイサービス(現在の放課後等デイサービス)」を開始しました。以来16年。多くの方の利用を頂き、卒業後は法人の「生活訓練つみき」や「オガリ作業所」などの事業所利用につながる方も多くおられ、子どもから大人になっていく貴重な時間とともに過ごし、継続して関わられていることは職員としても大きな喜びです。今後も支援のあり方や障がいの理解などについて研鑽を積んでまいります。

ライフサポート協会虐待防止の取り組み

ライフサポート協会には、正職員147人・パート・アルバイトなどの非常勤職員250人以上が働いています。中には未経験で入職する人や他の仕事から転職されてくる方もおられますし、学生アルバイトや外国出身の方、高齢の方など多様な方が、障がいのある方・お年寄りの支援に関わっていただくこととなります。また毎年、一定数は入れ替わりもあります。他方で、時々報じられるように、「施設内での虐待」さらには殺人に至るような事件もありました。まずは、こうした心無い職員をそもそも採用しないということは言うまでもないことですが、それ以外にも「障がいのある方・認知症の方などへの関わり方がわからない」や「人手不足ゆえの不適切な支援（指導・叱責・本人の意向の無視など）」が広い意味での虐待につながると考え、ライフサポート協会では毎年「虐待防止研修」を全部門で実施をしています。同時に課題を把握するための「職員アンケート」も全職員対象に隔年ですが実施しております。

おもな項目は…**あいさつ・利用者の呼び方・個人情報取り扱い方・利用者からの声に無視や否定的な態度をとっていないか？・お待たせしていないか（お待たせする場合は、具体的に見通しを示しているか）・職場の上司や同僚に意見をいいやすいか？・利用者への支援**

について悩みや疑問がないか？あった場合話せる雰囲気か？などです。具体的行動だけでなく、職場の風通しや、他者からの視点が入る環境も大事であると考えての設問です。その他では、食事や入浴を拒まれる方への対応や、ご家族による不適切な対応を目にした時について、周囲に迷惑が及ぶ場合の制止や声かけについてなど現場での悩みを書かれているためこうした機会を通じて支援のあり方を検証しています。

※報告書全文はホームページから閲覧できます



韓国高齢者施設見学

なごみ総合施設長の福留です。今回、畿央大学の山崎直美教授のお誘いをうけ、韓国を視察訪問いたしました。日本と韓国は、家族制度や文化、産業・経済、高齢化の進行過程などで、類似性があるという事で、療養病院・認知症疾患医療センター・地域包括支援センターなどは、日本から学んだそうです。



イソソ療養病院では、在宅復帰を目的として、最先端の医療機器を備えると同時にリハビリも充実していました、バーチャルゲームやiPadを使ったり、車の運転を継続できるためにと、ゲームセンターにあるような練習用の車両があったり、復帰後の生活をアセスメントをしっかりとされ、リハビリにつなげられていました。回復期には生活動作のリハビリ室として、自宅と同じ構造のお部屋が準備されていました。



歯科・口腔科も併設されており、口から食べることを重視しておられました。また病棟内には、個室と多床室があるものの、すべてユニット化され、景色の良い眺めを見てもらいたいという思いと、こまめに換気ができるようにと、大きな窓のリビングがあり、心地よく過ごされている姿がありました。思った以上に快適な空間になっていました。

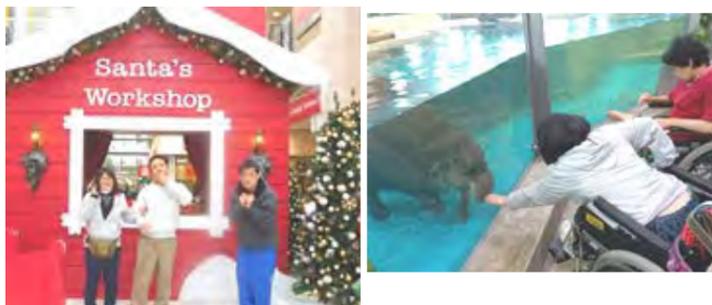


日本の介護保険は当初は予防の観点が乏しかったという反省点が指摘されています。韓国はその轍を踏まないようにという思いも感じ取れましたが、反面、過重に予防重視に偏ると「認知症になることを極度に恐れる・否定的にとらえる」ということもありえるため、「認知症になっても認められ、暮らし続けられる」という視点も必要ではないかとも感じました。その辺りの視点は今回の視察では学びきれませんでした。日本に続いて高齢化が進行すると言われるアジア各国とも機会があれば交流を重ねていきたいと思ひます。

オガリ作業所では年末に外出を行いました。いろいろ班では希望別で『ニフレル』と『ハーバーランド』に行きまして！ニフレルでは、海の動物を間近に見て、メンバーさんも大盛り上がりでした。ハーバーランドでは潮の香りを感じながら、華やかなイルミネーションを楽しみ、クリスマス気分を味わってきました。今年もいろいろとお出かけしてみんなで楽しみたいと考えております！



オガリいろいろ班外出



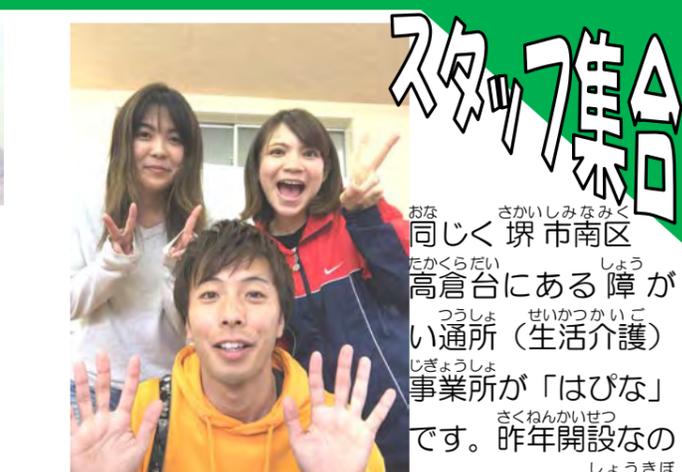
である一ぶ班「節分豆まき」

る一ぶ班では 2月1日にみんなで豆まきをしました。鬼役をかってでてくれたメンバーさんは「お～痛いっ！痛いっ！」とリアクションもしっかりしてくれ、盛り上げていただきました。鬼がこわいメンバーさんがいたり、鬼が鬼に豆をなげたり、ぱくぱく福豆を食べたり、それぞれに節分を楽しんでいました。

堺市南区高倉台にあるスーパーマーケットをしている障がい者支援事業所がるびなすです



左が藤田・上左から西迺・加藤・下左から船越・古賀になります



後方左から伊藤・松江 てまえが久保です

スタッフ集

同じく堺市南区高倉台にある障がい通所（生活介護）事業所が「はびな」です。昨年開設なのでまだまだ小規模ですが、楽しくがんばっています

みんなのマーケットるびなす・はびな